

## SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目(黄色マーク項目)は、必須記載項目です。  
 ・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

### 【基本的な事項】

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	当球団には、性別年齢20代からスタッフ含めると60代までで海外出身選手も在籍しておりありません。					○			○								○	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	コンプライアンス研修等を定期定期に開催しています。					○			○									○
	3	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	時間管理がシフト表などを利用し外部機関との管理をしています。								○									
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	豊富な海外選手在籍経験を活かし、バックボーンを尊重している。				○				○		○							
	5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	トレーニングコーチなどを豊富で能力のある方を選定し環境整備を整える。				○				○									
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	メンタルトレーナーを活用し定期的に開いている。				○													
	7	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	女性の力で山梨を元気にを理念にし、活動をしています。					○			○		○							
	8	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会					○				○									
	9	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済					○				○		○							
	10	【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済									○		○							

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	事務局がある甲斐市の廃棄物処理に則って細かい分別を心がけています。											○	○		○			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	前年度比を明確にし、エネルギー使用の節約に努めている。							○						○				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	前年度比を明確にし、温室効果ガス排出量の節約に努めている。							○					○	○				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	法律に厳守している。			○			○					○	○					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	適正な配慮をしている。						○										○	
16	環境 【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	前年度比を明確にし、節水に努めている。また、シャワー室の節水シャワーヘッドに交換するなどしている。						○											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境				○			○	○					○	○	○	○		
18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境													○					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境								○						○				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境													○	○	○	○		
21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境							○						○	○	○	○	○	
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	適切な教育をしている。																	○
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	適切な教育をしている。																	○
24	公正な事業慣行 【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	適切な教育をしている。								○	○								
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	個人情報保護法に則っており適切に対応している。																	○
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会																		○
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	応用	社会	適切な教育、始動をしている。					○			○		○		○	○	○	○	○	○

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
28	製品・サービスの安全性 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	安全の取り組みを確立している。			○									○						
29	品質保証 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	お客様に応援してもらえるチーム作りを確約している。									○									
30	環境配慮製品 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境							○						○	○	○	○			
31	社会課題解決製品・サービス ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	地域への影響への配慮 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	地域に及ぼす影響を理解し適切に取り組んでいる。				○					○		○	○		○	○			○
33	社会貢献・地域貢献 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会				○								○			○	○			○
34	地域資源の積極的利用 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	応用	環境、社会、経済									○	○		○	○	○					
35	法令遵守 ・法令遵守の考え方が社内十分に浸透している	基本	社会	法令遵守をし定期的に呼びかけている。																		○
36	内部管理体制 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	組織、チームとしてしっかりと目標把握を定期的に行っている。									○	○								○
37	法令遵守 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会																			○
38	組織体制 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	担当部署が確立している。																		○
39	リスクマネジメント ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済																			○
40	企業の社会的責任 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の取組を進めている	応用	環境、社会																			○
41	ステークホルダーとの対話 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会																			○ ○
42	事業継続 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済										○		○		○					○

